

○ 作品

《作成者》 島吉 信之介



＜解説＞

コロナウイルス感染拡大防止の呼び掛けの中でも、大きなインパクトとメッセージ性を持ったコピーライティングが「三密（密閉・密集・密接）」である。「三密を避ける」ことが肝要、という認識は既に広く認知されているが、文字のデザインによってそのメッセージを感覚的に伝えることに成功した秀作である。ユーモラスな表現でありながら忘れがたい印象を残す作品は、注意喚起という目的のみならず、意味の再構築による共感の提供という、デザインが果たすべき役割をよく体現している。

《作成者》 北園 大和



＜解説＞

コロナウイルス感染拡大防止の注意点には、「三密」の他にも様々なものがある。私たちはそれら注意すべきこと、心掛けなければならないことに納得しながらも、どこか「馴れて」しまっているところがある。単純化された力強い造形と鮮やかな色彩によって、そうした耳馴れた言葉に対する新たな認識

と自覚を与えることを目的とした連作は、見る者を惹きつける魅力に溢れている。各パターンの自由な組み合わせにより、場所や対象者に応じて最適な掲示方法を選択できるというアイデアも広報物として優れている。

○ 愛知県立芸術大学による今後の啓発活動

以下の機関等へポスターを配布し、感染防止の啓発に活用していただきたいと考えています。

- ・ 県内の大学
- ・ 愛知県、市町村などの行政機関
- ・ 県内の医療機関
- ・ 希望する企業等